

騒音に関する説明書の記載例

騒音に関する説明書

事業者名 : ○○○○
事業所名 : ○○発電所
設備名 : ○○設備

令和 年 月 日

連絡先 : ○○○○
[TEL] [FAX]

電気主任技術者：通産 太郎（第○種）

一 設置（変更）しようとする発電設備の概要

事業者名		〇〇〇株式会社
代表者の氏名		代表取締役 〇〇 〇〇
代理人の職・氏名		―――
住 所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
発 電 所 の 名 称		〇〇〇株式会社〇〇工場発電所
発 電 所 の 所 在 地		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
従 業 員 数		〇〇名
発電設備の概要	発電設備の番号	第〇号発電設備
	発電設備の出力	〇〇 k W
	通 風 機 の 種 類	〇〇〇
	通 風 機 の 通 風 量	〇〇m³/min(原動機の出カ〇〇kW)
	通 風 機 の 個 数	〇〇基
	空気圧縮機の種類	〇〇〇
	空気圧縮機の容量	〇〇m³/min(原動機の出カ〇〇kW)
	空気圧縮機の個数	〇〇基

二 騒音防止の方法

指 定 地 域 の 区 分	第○種
規 制 基 準	朝夕○○dB、昼○○dB、夜間○○dB
騒音の大きさ イ 特定施設等の騒音の大きさ	○○○ ○○dB
ロ 発電所等の境界線上の騒音の大きさの推定値	朝夕○○dB、昼○○dB、夜間○○dB
騒音防止方法の概要 (図面添付)	

三 添付図面

発電所等の平面図及び周辺図にイ及びロに掲げる事項を図示し、ハに掲げる事項を付記すること。

イ．発電所等の騒音に関する設備（特定施設等の騒音源及び騒音防止に関する設備）の配置図

ロ．発電所等の境界周辺の状況

海、河川、道路、農地等の状況及び住居、病院等の建造物の状況

なお、発電所等が属する指定地域の区分と周辺の指定地域の区分が異なるときは、その状況

ハ．境界線上の騒音の大きさを図示した図面（原則として次の箇所数を等間隔に選定する）

境界周辺長さ	箇所数
3 0 0 m未満	1 2
3 0 0 m以上 5 0 0 m未満	1 6
5 0 0 m以上 1, 0 0 0 m未満	2 0
1, 0 0 0 m以上 2, 0 0 0 m未満	2 4
2, 0 0 0 m以上 3, 0 0 0 m未満	3 2
3, 0 0 0 m以上	4 0

(注) 変更しようとする場合には、変更事項について変更前及び変更後の内容を併記すること。

(参考) 騒音の測定方法

騒音の大きさの測定方法は、昭和43年11月27日付け四省共同告示第1号「特定工場等において発生する騒音の規制に関する基準」備考3及び4によるほか、(社)日本電気協会電気技術基準調査委員会の電気技術指針「発電所等における騒音防止対策指針」の「発電所の騒音測定方法」(J E A G 5 0 0 1 - 1 9 7 1)によること。

備 考

1. 本説明のうち一～二について、写しを一部提出すること。
2. 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。